



# 山中魂

～正義 勇気 土根性～

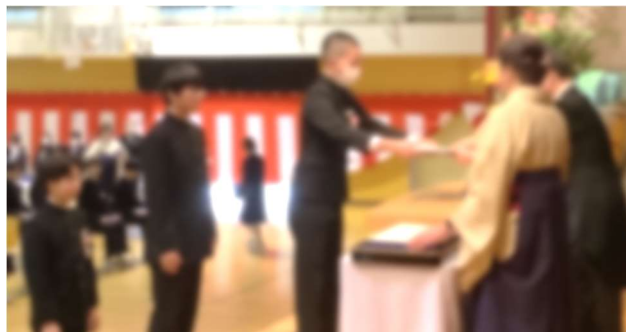
新潟市立山の下中学校たより

令和6年3月6日発行

第23号 校長 武藤 雅雄

## 祝 第76回卒業証書授与式

3月4日に第76回卒業証書授与式を行い、113名の卒業生が山の下中学校を卒業しました。5年ぶりに、来賓や在校生が参列し、盛大に実施しました。



## 校長式辞（抜粋） 武藤 雅雄

元日に発生した能登半島地震は、新潟でも多くの方が被災されました。そんな中、第76回卒業証書授与式を挙げていくことに、感謝と喜びの気持ちで一杯です。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。一人一人に手渡した卒業証書は、義務教育を終えた証（あかし）であるとともに、未来へのパスポートでもあります。

皆さんが入学した3年前は、すでにコロナ禍でした。約2年間、不自由な生活を余儀なくされました。しかし、今年度は制約なく活動できるチャンスが訪れました。最上級生となった4月の修学旅行。東日本大震災の被災地を訪れ、震災被害を目の当たりにし、皆さんの学びは一層深められました。旅行中、旅先で出会う方々から「山の下中学校の生徒は素晴らしい」と口々に褒めていただきました。

「一期一笑」のスローガンを掲げた生徒会活動。本部や専門委員会、学年委員会が知恵を出し合い、工夫を凝らし、「あじみこ+そ」を大切に活動しました。

「THREE × HIGHTERS 新時代のバトルを繰り広げろ」のスローガンを掲げた黎明祭。迫力満点のパネルの下、あふれる闘志とひたむきな姿で体育祭を盛り上げました。後輩の手本となって活動する皆さんは、心から黎明祭を楽しんでいました。

「合唱で奏でろ ～りゅーとぴあに ゆーとぴあを～」のスローガンを掲げた諸声祭では、美しいハーモニーが、りゅーとぴあに響きました。私は、合唱の完成度の高さに、中学生の可能性は無限であると改めて実感させられました。

いつも前向きに取り組んだ部活動。最後の中体連の大会では、サッカー部、新体操部、男子バレー部、剣道個人が県大会に出場しました。さらに、サッカー部、新体操部が2位となり、北信越大会へ出場しました。吹奏楽部は、下越地区吹奏楽コンクール金賞を受賞し、県吹奏楽コンクールに出場しました。JOC 都道府県対抗バレーボール大会では、坂井さんが県代表チームに選ばれ、全国大会に出場しました。

皆さんは、山中の歴史と伝統に、新たな 1 ページを加え続けてくれましたね。ありがとう。

私には卒業生の成長を感じる言葉があります。それは、行事や大会で抱負や感想を発表する場面で使われる「感謝」の 2 文字です。皆さんは、当たり前前にできなかった悲しみや苦しみを糧に、感謝を素直に表現できる素敵な大人に成長しました。



皆さんは、学校で iPad の活用や話し合い活動を通して、学びを広げる。考えを深める。答えや新しいアイデアを生み出すという「学び方」を身に付けました。iPad を自在に使いこなす皆さんの順応性の高さに、いつも感心させられていました。

これからは、各自が選んだ道を歩みます。その先には、変化が激しく予測困難な未来社会があります。時には厳しい現実足が立ちすくみ、心が折れそうになることがあるかもしれません。そんな未来社会を切り拓くために必要なのは、「自分を信じて笑顔で前に進む力」と「仲間を信じてプラス思考で協働する力」です。しかし、皆さんは山中での 3 年間を通して、正解のない問題に対しても、知恵を出し合い、仲間と協力して納得できる答えを見つけました。困難があれば立ち止まってもいいのです。前を向いて進めば、いつか困難を乗り越えることができます。夢をかなえることができます。

今ここにいる卒業生全員が、再び一堂に会することはないと思います。人生は一期一会。出会ったすべての人への感謝の心と、先輩から脈々と受け継がれた山中魂「正義・勇気・土根性」の歴史と伝統を胸に、山の下中学校から羽ばたいてください。卒業生 113 名の「幸せな人生」を心から願い、式辞といたします。

## 卒業生答辞（抜粋）

私たち 3 年生は無事卒業式を迎えることができました。1 月に能登半島で起きた地震で、今もたくさんの人たちが避難生活を余儀なくされており、新潟でも多くの被害が出ています。当たり前の日常が突然奪われ、今まで通りの生活が送れない人たちもたくさんいます。そんな中、このようにご来賓や保護者の方々をお迎えして盛大にお祝いしていただけることを、卒業生を代表し、厚くお礼申し上げます。

3 年間で振り返るとたくさん思い出が蘇ってきます。

中学校生活への期待と不安を胸に臨んだ入学式から始まり、初めての定期テストや、初めての行事など慣れない学校生活に戸惑いました。ですが、仲間や先輩方に助けをもらい少しずつ中学生として成長することが出来ました。

2年生になると、後輩ができて先輩として行動するという責任感が生まれました。学校生活や部活動などで後輩に対して分からないところを教えてあげたり、お手本となるような行動をしたりする事を意識して生活するようになりました。



そして最高学年になり、最初の大きな行事は東北方面への修学旅行でした。東日本大震災の被災地を訪問し、被害の状況や復興の現状を自分の目で見て、考えを深めてきました。班別行動や那須ハイランドパークなどへも行き、今まで以上に仲間との絆を深める事が出来ました。

最後の黎明祭は3年生が中心となって後輩にダンスを教えたり競技を応援したりし、学年の壁を超えて盛り上がる最高の黎明祭を創り上げることが出来ました。

諸声祭ではクラス全員で意見を出し合い諸声賞を目指しました。練習を通して団結力を高め、自分たちの合唱を納得いくまで極めたからこそ、一つのことを成し遂げたという達成感が得られました。在校生の皆さんが、私たちに協力してくれたお陰で様々な活動を成功させることが出来ました、ありがとうございました。

思えば、私たちの学年は「元気と笑顔にあふれるあったかい学年」だったと思います。行事があれば、率先して盛り上がり、後輩達をリードし、「カッコいい3年生の姿」を見せることができたのではないのでしょうか。私は中学校生活を振り返ると楽しかったという思い出しかありません。そんな思い出を作ることができたのは、ここにいる3年生全員のおかげです。本当にありがとうございました。

在校生の皆さん、これからの山の下中学校を創るのは、ここにいる皆さんです。今よりさらに発展した素晴らしい学校にしてください。期待しています。

そして私たちが今日まで無事に学校生活を送り、ここまで成長することができたのは、温かく見守ってくださった保護者の皆様、地域の皆様、そして、時に優しく、時に厳しく私たちを導いてくださった先生方のお陰です。たくさん迷惑をかけたかも知れませんが、おかげで今、晴れやかな気持ちで卒業できる私たちがいます。これまで本当にお世話になりました。

山中魂を胸に私たち三年生は今日、新たな世界へと旅立ちます。これまでの教えをもとに、新しい時代に生き、新たな世界を創り上げられるように、一人の人間として大きく成長していきます。最後になりましたが、山の下中学校の輝かしい未来と、ここにいる全ての皆様のますますのご発展をお祈りし、答辞といたします。

## 在校生送辞（抜粹）

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。卒業証書を手にした今、皆さんの胸にはどのような思いが込み上げているのでしょうか。きっと様々な場面が蘇ってきていることと思います。私たち在校生もまた、皆さんと過ごしたかけがえのない日々を思い出し、感謝の気持ちをかみしめています。



初めに思い浮かぶのは「一期一笑」のスローガンのもと、全校生徒が毎日を笑顔で過ごせるよう取り組んでくださった生徒会活動です。どんな質問にも真摯に向き合ってくくださった目安箱。学習意欲向上に繋がった勉強方法質問会。いじめ見逃し0スクールでは劇などを交え、いじめに気付いた時自分はどう行動すべきか考えるきっかけとなりました。他にも、授業挨拶強調週間、クリーンDAYなどの委員会活動や新しい企画を通し、生徒会活動をより発展させてくださいました。また、昨年、書記局員になったばかりで戸惑う私に寄り添い、先輩方が自分の時間を割いて丁寧にアドバイスしてくださいました。そのことは深い感謝とともに温かな思い出となって、今も心に残っています。

黎明祭は、幹部の3年生を中心に、猛暑の中でしたが軍全員の体調に気を配りつつ、限られた時間で練習しました。楽しく元気で迫力ある隊形移動など、完成度を高めていく姿に最上級生としての頼もしさを感じました。

諸声祭では、クラス一体となって歌うことで一人一人が輝いて見えました。どのクラスのハーモニーもとても美しく、中学校生活最後の行事に全力を尽くす3年生の絆の強さに胸を打たれました。

部活動では、日頃の練習に精一杯取り組む姿や挨拶・マナーを大切にする姿勢から、毎日の積み重ねの大切さを教えていただきました。また、先輩的的確なアドバイスにより、できなかったプレーができるようになった時の嬉しさは今でもはっきり覚えています。どの場面を思い返しても皆さんは私たちの憧れでした。

これから皆さんは一人一人違う道を歩んでいけます。その道のりには様々な困難や試練が待ち受けているかもしれません。しかし、皆さんならどんなに高い壁も乗り越えていけると信じています。中学校での多くの経験や友情、「正義・勇気・土根性」の山中魂を胸に、それぞれの夢へと力強く歩いてください。

皆さんとのお別れはとても寂しく、できることならもっと多くの時間を共にし、多くの思い出を作りたかったと、名残惜しい気持ちで一杯です。けれど、この寂しさを乗り越え、私たち在校生も皆さんが守ってくださった伝統を引き継ぎ、山の下中学校をより進化・発展させていくことをお約束します。最後に、皆さんのご健康と更なるご発展・ご活躍を心からお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。